

文教厚生常任委員会報告

平成 30 年 2 月 27 日
委員長 吉住 長敏

文教厚生常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際しましては、平成 30 年 1 月 22 日に保健福祉部、2 月 8 日には教育部に対し関係部課長等に出席を求め委員会を開催いたしました。

保健福祉部

隣保館 (14 分)

隣保館係から、平成 29 年度地域交流促進事業、就労サポート講座事業、スタンドアローン支援事業の進捗状況の概要説明。

委員から、隣保館からの公共施設間タクシー利用状況の問いに、現時点ではない。スタンドアローン支援事業利用者における減少傾向の原因はどの問いに、地域主体の学習支援の広がり、交流館自習室の利用、児童館・児童センターでの学習支援体制の充実なども要因の一つなのかとの見解。

子育て支援課 (29 分)

こども係から、保育所入所状況、病児・病後児保育事業の利用状況、子ども・子育て会議について、家庭支援係から、つどいの広場事業、こども発達ルーム、家庭支援係の相談件数、子どもの実態調査事業の進捗について概要説明。

委員から、福岡東医療センターの病児保育における当初見込みや周知との関係、新たな設置の考えの問いに、初年度の利用は 240 人から 400 人程度の見込みの間で推移。保育所入所決定時に全員に対し案内書面を同封。病児保育の拡大に向けて検討している。保育所の 150%近い充足率の現況の問いに、常時 120%超過していれば定員見直しの通知があり、来年度は面積、保育士等要件を守りながら定員数を花見光保育園 50 人、庄ひかり保育園 30 人増加の方向で協議中。待機児童の問いに、2 月入所でゼロ歳児に数人出る可能性があるとのこと。

介護支援課 (45 分)

介護予防係から、企業コラボ企画シニアサンドイッチ教室、生き生き音楽交流会、認知症サポーター養成講座について、包括支援センター係「寄って館」から、今年度事業の状況、介護予防・日常生活支援総合事業の利用状況について、介護保険係から、介護保険サービスの利用状況、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（2018～2020 年度）の素案、介護保険運営協議会に関連する進捗状況について、その他として、地域活動サポートセンター「ゆい」の業務委託、介護予防・日常生活支援総合事業に関する陳情について概要説明。

委員から、企業コラボ企画の持ち込みの問いに、山崎製パン以外はない。介護保険料についての答申に関する問いに、1 月 17 日に介護保険運営協議会会長から答申があった。介護施設への待機者の問いに、特別養護老人ホームに 30 人程度いるが市内有料老人ホームも多く、実質入所できなくて困っているという情報は少ない。一人暮らしの見守り体制の問いに、社会福祉協議会の福祉員による充実した見守り活動と連携している。

予防健診課 (47 分)

健診指導係から、特定健診・がん検診受診状況、第 3 期特定健康診査等実施計画・第 2 期古賀市国民健康保険保健事業実施計画について、健康づくり係から、第二次古賀市健康増進計画及び食育推進計画の策定状況、平成 29 年度高齢者インフルエンザ予防接種の期間延長について、その他として、「みんなで健康ココロへ 10 プロジェクト始動」について概要説明。

委員から、特定健診の受診状況の問いに、昨年度と同程度かそれ以上の見込み。「ココロへ 10」の企業の反応の問いに、健康チャレンジ 10 か条の推進もそうだが、市民と企業が分断されることなく健康に向かって一体となって参加する意識がある。合計歩数で競い合う「ココロへ 10」の表彰はの問いに、上位 3 チームを表彰し、結果の市民への公表を検討。ヘルス・ステーションのフォローや職員体制の問いに、最終的に地域で健康づくり、介護予防の活動が広がるよう地域間に協力し合える関係づくりを一緒に進めたい。現在、育休産休等で休業中の 3 人が順次復帰した段階では業務量と実施労力との調整が図られるかと思われるが、現段階ではその時期でない。他の職員の横断的な関わりと健康づくり推進員の活動のセットで取り組みたい。

福祉課 (31 分)

障害者福祉係から、障がい者就労等支援状況について、保護係から、生活保護の現況について、生活再生支援係から、生活困窮者自立相談支援事業について、その他として、福祉避難所の設置・運営マニュアルの策定、古賀市保健福祉総合センター条例一部改正の 3 月議会提案について概要説明。

委員から、障がい者雇用での企業への働きかけの問いに、就労支援セミナー等を行う際に声かけをしている。生活保護の基準の見直し内容の問いに、全国試算では生活扶助費において全世帯の 26%が増え 67%が減る。2 級地 2 の区分である古賀市における状況の試算は困難。古賀市福祉避難所等のあり方検討委員会の構成、開催状況の問いに、保健福祉部長を委員長に総務部長、総務課、福祉課を事務局に保健福祉関係課長係長等がメンバー。平成 28 年度 2 回開催。今年度素案作成、2 月中に検討委員会を開催し、年度内にはマニュアルの策定を終えたい。県事業まごころ駐車場の取り組みの問いに、40 近く申請したが数年経過しており、再度啓発用物資を調達し新たに設置中。

教育部

学校給食センター (48 分)

学校給食センター係から、平成 29 年度の給食提供事業及び食育推進事業の報告、食器破損状況及び地元農産物使用状況について、所長から、1 月 29 日に発生した給食搬送車両の交通事故、残菜量報告、献立表への給食センターの思い等の記載について概要説明。

委員から、生産者と触れあう機会の問いに、小学 2 年生の見学の際に農家の声を直接伝えている。地産地消の観点から 8 小学校分の献立を半分に分けてはの問いに、小学校分を分けるのは困難であり大量購入により安価な面もある。学校給食会との関わりの問いに、緊急時にはパンや一般物資を調達。地産地消の状況の問いに、農産物以外では醤油、みりん、酒類、卵、肉等は古賀市内業者から。給食費納入状況の問いに、納入率は 1 月末の給食費が約 97%、3 月段階では 99%を見込む。未納率 1%分でも百万円単位となり、野菜高騰で苦慮している。食器破損率低下の要因の問いに、コンピュータ制御盤の更新によるもの。農協との連携の問いに、定期的協議はしていないが食材別にて北部プラザや直接農家と話をしている。

学校教育課 (30 分)

学校教育課長から、不登校児童生徒数、学童保育所入所状況・見込み、平成 29 年度中体連等新人大会・中文連結果、小中学校の表彰状況、奨学金の申請状況等について概要説明。

委員から、花見小学校の学童保育における 4 月以降待機者を出さない取り組みの問いに、旧用務員室を広げる方向で協議。委託先には指導員確保をしていただくようにしている。トイレ設備の問いに、いまのところ増設予定はないが委託先と更に協議。先生の働き方改革の対応の問いに、週案による出退勤時刻の管理や校務分掌の見直しのほか、35 人以下学級や多様な人的配置そのものが大きく、部休日もいち早く設定。土日休日の引率を外部講師に任せてはの問いに、中学校長会に諮ったところ責任が伴うことなので任せることは難しく現状を継続したいとのこと。就学援助拡大の問いに、来年度から小学生は 2 万 470 円から 4 万 600 円へほぼ倍額の支給基準に変わったことで改善

方向にある。制服リユースの取り組みの問いに、中学3年生の卒業する生徒に対し周知チラシを配布。保護者間の口コミも多く10月頃から受け取りに来ているとのこと。

教育総務課（23分）

施設管理係から、平成29年度学校施設整備の主たる工事等の進捗状況、古賀市学校施設長寿命化計画（案）の作成及び同案に係るパブリック・コメントについて概要説明。

委員から、施設で外壁落下の懸念はないかの問いに、構造躯体以外で一部C評価はあるが大事故につながる状態ではない。バリアフリーからユニバーサルへの表記の変更はの問いに、持ち帰って検討。開かれた学校づくりで誰もが快適に利用できる施設となるよう心がける。小中学校のエアコンの問いに、前向きに検討中。計画書における西暦使用の意識の問いに、和暦（西暦）で記載済み。学校施設への高齢者サービス等を計画におり込む事への考えの問いに、計画書には他の公共施設との複合化が記載済み。学校トイレの洋式化、乾式化は10年計画に先んじるべきの問いに、学校トイレは便器、配管の更新が進んでおらず、優先的に改修すべき事項ととらえている。

生涯学習推進課（1時間37分）

社会教育振興係から、平成29年度社会教育振興事業、リーパスプラザこがの利用状況等について、スポーツ振興係から、クロスパルこが、健康づくり地域交流フェスタ、第45回成人式記念駅伝大会について、公民館係から平成29年度コスモス市民講座、平成29年度公民館類似施設整備費補助事業について概要説明。

委員から、交流館での臨時学習室開放の問いに、12月、1月は行っていない。外国人成人者の案内等の問いに、宛名はローマ字表記。全国的に話題となった振袖業者「はれのひ」の古賀市での影響の問いに、影響は聞き及んでいない。成人式での酒類の取り扱いの問いに、飲酒入場の遠慮願う文面等来年は案内状も工夫したい。大きな行事の際の市民グラウンドの駐車場利用についての問いに、市民グラウンドの駐車場開放は行っていない。出初式の消防車両の市民グラウンド乗り入れの対応の問いに、市の出初式行事であり、消防車両は端を通行しており一般車両の駐車場の開放はしていない。成人式におけるリーパスプラザこがの駐車場についての問いに、当日は成人式記念駅伝のコースのため制限。成人式は過去大変荒れたことがあり、補導員との協議により危険回避として閉鎖。市行事で全館押さえる苦情の指摘に、実質閉館のような誤解を生まないよう対応。交流館のフリースペースを使いやすいようにの問いに、やはり机を置くと占有され有料貸室との兼ね合いもある。クロスパルこがの都度利用者増加の要因の問いに、風呂利用者の増加がみられる。新たなジム2カ所の影響の問いに、1月以降に出てきた。2カ月無料キャンペーンなどで対応中。利用者がどこのジムを選ぶかはジムの特色やインストラクターの手腕によるところが大きい。体育協会主催のペップトーク研修会で学校教育課との連携の問いに、今後は検討。第二次スポーツ振興計画の進捗の問いに、今年度アンケート実施。来年度完成させたい。コスモス市民講座の受講者に対する人づくり目標の問いに、カルチャーにならず地域活動に足を運んでもらうよう取り組みたい。公民館改修の取り組みの問いに、区の要望を受けて地域の社会教育活動等に活用していただき、3年間程度の計画を立てて整備に係る補助をしている。

文化課（1時間02分）

文化財係から、文化財関係事業の進捗状況について、文化振興係、図書館係、市史編さん準備係から、今年度事業報告及び事業予定について概要説明。

委員から、国史跡船原古墳保存活用計画（案）のパブリックコメントの状況の問いに、2人からの指摘があった。船原古墳の整備内容の問いに、遺跡説明板は2カ所、第2期工事で実施中。道路サインは来年度の予定。アート・バス事業の今後はの問いに、回数は見直したい。文化芸術事業補助についての課の考えの問いに、縮小ではなくスクラップ&ビルドの考え。セカンドブック利用の取り組みの問いに、今年度から3歳児健診で渡し、その際に図書館利用のアピールはやっている。

こがめルームの活用の問いに、おはなし会で通常三、四十人が利用。図書館開館時間の検討の問いに、業務委託の状況を調査研究中。市史編さんの進捗の問いに、今年3月に今在家、筵内で昔の状況を聞き取る。市史はまだ大きな方向性が固まっておらず骨格を煮詰めている状況。市指定文化財に対する何らかの礼遇はの問いに、無しとのこと。

青少年育成課（33分）

青少年育成課長から、第17回古賀市子どもわくわくフェスタ事業、児童館・児童センター事業、古賀市少年センター事業、日本の次世代リーダー養成塾事業、古賀市青少年総合センター機能移転状況について概要説明。

委員から、児童館整備の方向性に関しての問いに、3中学校区の整備が進んだが米多比児童館の老朽化問題がある。センター相談の内容の問いに、匿名か実名かの登録はしておらず電話相談が圧倒的で適宜、来所もしくは訪問につないでいる。日本の次世代リーダー養成塾の廃止の要因の問いに、平成29年度は参加者ゼロ。参加費の2分の1を補助するが、約6万円の負担等を総合的に考え廃止。古賀市子どもわくわくフェスタはマンネリ化していないかの問いに、反省材料として受け止めたい。児童館の乳幼児事業の問いに、ファミリー講座を2回実施。通学合宿の拡充の問いに、地域からの支援を得て広げたい。放課後子供教室事業の開催状況の問いに、自主運営のアンビシャス広場も含め全小学校で開催されている。

以上、議会閉会中の調査事項の付託案件について調査の概要報告を終わります。